

授業科目名	マネジメント入門	担当教員	坂本　ひとみ
必修の区分	必修		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年　第 1 クォーター		
講義内容	マネジメント入門は、組織がどのような目的で形成され、どのようにして存続してゆくのかを理解することを授業の目的としている。従来の位置づけでは「経営学」に相当するが、科目体系としてのマネジメントと経営学とではかなりアプローチ方法が異なる。ドラッカーによると、マネジメントの仕事には3つの機能がある。「事業をマネジメントすること」、「経営管理者をマネジメントすること」、そして「人と仕事をマネジメントすること」である。この授業では、ドラッカーの体系に従って授業内容を構成してゆく。		
到達目標	マネジメント入門を履修することにより、以下の能力が身につく。 1. 事業（営利や非営利を問わず）をマネジメントすることがどのようなことなのかを説明することができる。 2. 経営管理者をマネジメントすることを説明することができる。 3. 人と仕事をマネジメントするための計画を立てることができる。 4. 自分がプロジェクトリーダーになった時に、プロジェクトを成功裏に推進するために必要なマネジメントの大まかな計画を立てることができる。		
授業計画	1. 「もしドラ」でドラッカーのマネジメントを学習する 2. 経営学とマネジメントとの異同性 3. 事業の目的とは何か？ 4. マーケティングとイノベーションをケースで学習する 5. 人と組織のマネジメントに必要な人材育成を理論とケースで学習する 6. 人と組織のマネジメントに必要なキャリアを理論とケースで学習する 7. リーダーシップとフォロワーシップを理論とケースで学習する（講師による事例紹介） 8. ケースでリーダーシップとフォロワーシップを学習する 9. サービス業と製造業のマネジメントの異同性 10. ケースでサービス業と製造業のマネジメントの違いを学習する 11. ソーシャル・イノベーション（社会的課題の解決）のマネジメント 12. まとめ　マネジメントに関わる法律と事例（外部講師による事例と法律の紹介）		

事前・事後 学習	事前に配布するケースをケースの課題に従って分析してくる。授業中にケースについてのディスカッションをするので、自分の発言用の分析結果のメモを作成すること。授業後には、講義内容を踏まえてケースについての分析レポートを提出すること。
テキスト	なし
参考文献	小倉行雄，佐藤善信編『ケースで学ぶ現代〔改訂版〕』放送大学教育振興会，2014 年. 岩崎夏海『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』新潮文庫，2015 年（初版，2009 年）. その他、授業中に適宜紹介する。
成績評価 の 基 準	授業態度 70%：出席、遅刻の有無、発表・発言・ディスカッションの質・量等 期末レポート：課題 30%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	